

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して職員の数配置は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		児童が視覚的にも分かりやすいような環境づくりを心掛けております。児童が移動する際には職員が一掃に行動し、安全に配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		児童の活動に合わせた空間づくりをおこない、毎日、清掃や教材・玩具の消毒、故障箇所がないかの確認をおこなっており、また、大きな物や高さのある物を教室内に置かないようにしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		児童の様子に合わせて安心して過ごせる環境を整え、安全に配慮した空間の確保に努めております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡をおこない、児童発達支援管理責任者を中心に療育内容の確認などの話し合いの場を設けております。また、定期的な会議を実施し、支援の改善点や療育計画について職員間で情報共有をおこなっております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表を集計し、職員全体で向き合い振り返りをおこなうことで業務改善につなげております。評価にあるご意見やご要望については、職員間で話し合い、内容を共有しながら改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日のミーティングで確認をおこない、当日の担当や一日の流れ、役割分担について確認しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		面談では社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解などを細かくヒアリングし、保護者様のご要望を反映させながら児童発達支援計画を作成しております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		面談では社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用して、児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解などを細かくヒアリングし、保護者様のご要望を反映させながら放課後等デイサービス支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		保護者様からうかがった内容や事業所での様子をもとに、児童発達支援管理責任者が作成した計画書を職員間で共有し、全職員で話し合いながら支援をおこなっております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画に沿った支援をおこなえるよう会議にて活動内容を決定し、全職員で情報共有をおこない、支援計画に基づく支援をおこなっております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しております。ツールには児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解などを細かく記載できるようにしております。	
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援管理責任者が中心となり児童の現状に合った支援計画を作成し、関係機関と連携をおこなっております。また、関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		個別支援会議の中で意見交換をおこない、療育で取り組む課題を設定し、計画を立てております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定プログラムのほか、季節の行事等を取り入れ、個別に集団を組み合わせた活動を楽しく実施できるよう努めております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別療育で読書の獲得や気持ちの伝え方等、個々の課題の学びの場を設け、集団活動の中でそれを活かして表現できるように見守っております。また、職員が関わりの中に入り、個別と集団を組み合わせた支援ができるよう随時工夫をおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について確認し、情報共有をおこなっております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		次の支援のために必要な振り返りに漏れがないよう、「[学校連携について]」「保護者共有に努めております」	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援に関する記録は療育担当者がおこなない、継続的な支援に役立てております。記録は個別支援計画等でも活用し、職員間で話し合いながら課題や目標設定に活用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しの必要性を判断しております。児童発達支援管理責任者が見直しの時期を把握し、面談等での聞き取りを通じて次の目標設定を検討しております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8		対象児童について職員間で話し合いをおこない、児童発達支援管理責任者が中心となって担当者会議等に参加し、関係機関との連携をおこなっております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		現在、医療的ケアが必要な児童は在籍しておりませんが、協力医療機関や障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し、支援体制の構築に努めております。	
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者様の同意のもと、移行支援として園や学校との連携をおこなっております。また、就学前相談等を通じて保護者様からのご相談に対応しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者様に確認をおこなううえで、関係機関と情報共有をおこない、支援に役立てております。	
	28	(28-30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けているか。	8		児童の療育に際して必要に応じて地域の事業所と連携し、助言を受けるとの対応をおこなっております。	必要に応じた助言等をいただけるように、ZOOM研修等も活用しながら、より円滑なコミュニケーションを目指してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		通所を本にしたい保護者様もおられるため、本年度も行事に地域住民の方をご招待するよう活動をおこなっております。	現在交流の機会は設けておりませんが、今後保護者様のご意向などを伺いながら検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日頃より連絡帳や送迎時のやり取りを通じて、こどもの状況や課題について共通理解をおこなっております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等が参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		送迎時等の機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や支援方法をお伝えするよう努めております。また、療育上必要なご家庭での協力についてもご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規程や利用者負担等について一つ一つ丁寧に説明をおこなっております。また、ご質問やご不明な点がないか確認しながら進めております。	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別支援計画の作成時には保護者様とアセスメントをおこない、ご意向やお困りごとについてお話をうかがっております。また、児童には療育の中で自分の思いや希望を表現できるよう環境設定をおこなっております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		モニタリングをおこない、ガイドラインに基づいた支援計画を作成し、保護者様と読み合わせをおこなううえで丁寧に説明し、同意を得てサインおよび捺印をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		ご相談があった際には児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有し、送迎時や連絡帳のほか、面談の機会を設けながら保護者様のお悩みの解決に向けて支援をおこなっております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会を実施しております。保護者様のご要望を伺いながら今後の内容について検討してまいります。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		こちらからもお声掛けをおこない、保護者様からのご意見や申入れがあった場合は適切に対応しております。また、担当者と連絡が取りやすいよう配慮し、ご意見や全職員で共有し、迅速な対応に努めております。	
	41	定期的な通信等を行なうこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月事業所カレンダーを配布しております。また、COMPASS発達支援センターの公式WebサイトやSNSを活用し、情報発信に努めております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		児童独自の意思表示方法については保護者様に教えていただき確認しております。また、簡潔で分かりやすい声掛けや視覚的支援を取り入れ、意思疎通が図れるよう努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		地域との情報共有や連携を図るため、今後の取組について検討してまいります。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルは事業所入口に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。また、防災訓練は年間計画に基づき実施してまいります。	
非常時等の対応	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画(BCP)を策定し、計画に基づいた訓練や非常時に備えた備品の点検をおこなっております。また、定期的な非常時を想定した訓練や話し合いを実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	8		アセスメント時に必ず確認をおこない、一覧表を作成し全職員で情報共有をおこなっております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アセスメントをもとに食物アレルギーの有無を確認し、適切な対応に努めております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、定期的な点検をおこない、全職員が安全管理に関する研修や訓練を実施しております。また、安全対策に必要な備品を常備しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		各種マニュアルを提示し、保護者様が確認できるようにしております。また、避難訓練の実施状況については連絡帳等を通じてお知らせしております。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8		ヒヤリハットについては記録を残し、全職員で共有しております。記録は整理・保管し、再発防止に向けた検討に活用しております。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		事業所に虐待防止責任者を選定し、すべての職員が事業所内研修に参加し、認識を深めております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		原則として身体拘束はおこないません。やむを得ず必要となる場合は、事前に十分な説明をおこない、保護者様の承諾を得たうえで支援計画に記載し、適切に対応してまいります。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。